

# 市民活動補助事業を決定しました

■問い合わせ先 市民協働推進課 ☎(32) 8887

## 市民活動補助事業とは？

市民団体が、地域のため、社会のために自主的に取り組む市民活動等の事業を推進するための公募型補助制度です。下野市自治基本条例の基本理念である「市民が主役のまちづくり」を目的としています。

申請のあった事業は、陣内雄次氏（宇都宮共和大学教授）を会長とする選考会で、公益性や発展性などを審査し、定められた基準を満たした事業に補助金を交付します。

## 令和3年度の補助事業が決定

今年度は11事業への補助を決定しました。9事業が昨年度からの継続、2事業が新規です。市の魅力発信や子どもの健全育成に関する活動などを行う団体が対象となりました。

この補助をきっかけに、まちづくりの原動力となる活動が継続して実施されていくことが期待されます。



選考会の様子

## ■市民活動補助事業一覧

事業名（団体名）	事業内容	コース
ゆうがお混声合唱の集い （下野混声合唱団）	近隣の市で活動する混声合唱団を市に招聘し、合唱の集いを開催する。他市団体との交流を深めるとともに、市民に質の高い合唱文化を提供し、地域資源などの発信により、広域連携の進展に資する。	継続 4年目 （令和2年度中止）
下野かんぴょう・ふくべ振興の会 （下野かんぴょう・ふくべ振興の会）	地域の特産物である「夕顔の実」を乾燥させたふくべを資材とした工芸品を製作し、栃木県独自の文化遺産として全国に発信する。ふくべを教材として市内小中学生を対象とした絵付け講座などを行い、郷土愛の醸成を図る。食にとどまらない夕顔の実の魅力を伝え広める活動を展開する。	新規 1年目
日光街道一部赤道の整備と一里塚の保全整備 （下野市日光街道一里塚保存会）	東日本で唯一連続して現存する一里塚について、市の貴重な財産としての認識を促し、文化財保護意識を醸成する。景観保全保護のため周辺環境を整備するとともに、見学会（ウォーキングイベント）を開催するなどの啓発活動を行う。	継続 3年目
若者サポート支援 （若者サポート・ハチドリ会の会）	引きこもりやニートなど、悩みや困難を抱える若者とその家族を支えるための相談支援事業を、市内公共施設を活用して行う。社会福祉協議会や障がい児者相談支援センターとの連携を強化し、支援内容の充実を図る。	継続 3年目
キンボールスポーツボランティア養成 （下野市スポーツ推進委員会）	キンボールは、子どもから高齢者まで楽しめるニュースポーツで、市の重点生涯スポーツとして位置づけられており、2022年栃木国体のデモンストレーション競技の開催が、本市を会場として内定している。キンボールスポーツの普及とスポーツボランティアの養成のため、各種講習会や出前講座を開催する。	継続 3年目 （令和2年度中止）
しもつけオープンガーデン推進 ～おもてなしの心をお庭に込めて～ （しもつけオープンガーデンクラブ）	個人や企業等団体の庭を一般に公開する「オープンガーデン」を開催し、市内の景観向上と市内外の交流人口増を図る。また、講座などの開催により事業に参加するオーナーを増やすほか、ガーデンオーナーの栽培管理技術の向上を図る。	継続 4年目
マママグマルシェ （マママグマルシェ実行委員会）	市内で子育て中、または子育てを検討している女性や家族が集うマルシェイベントを開催し、新たなコミュニティの創出や市の魅力発信を図る。今年度は2回開催し、事業の認知度向上と定着を目指す。	継続 3年目